平成27年度 成績概要書

課題コード（研究区分）： 4104-426500（道受託研究）

1. 研究課題名と成果の要点

- 1) **研究成果名**：平成27年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫
（研究課題名：平成27年度病害虫発生予察調査）
- 2) **キーワード**：病害虫発生予察、注意すべき病害虫、新発生病害虫
- 3) **成果の要約**：平成27年度に実施した病害虫発生予察調査から、多発傾向にあった病害虫として8病害虫を示す。また、平成28年度に特に注意すべき病害虫として4病害虫について防除指導上の注意を喚起する。さらに、平成27年度に新たに発生を認めた病害虫として17病害虫（病害9、虫害8）を示す。

2. 研究機関名

- 1) **担当機関・部・グループ・担当者名**：中央農試・病虫部・予察診断G・岩崎暁生、中央農試・病虫部・クリーン病害虫G、上川農試・研究部・生産環境G、道南農試・研究部・生産環境G、十勝農試・研究部・生産環境G、北見農試・研究部・生産環境G、花・野菜技術センター・研究部・生産環境G
- 2) **共同研究機関（協力機関）**：北海道農政部技術普及課、北海道農業研究センター、北海道病害虫防除所、（全道農業改良普及センター）

3. 研究期間：平成27年度（2015年度）

4. 研究概要

1) 研究の背景

病害虫の発生はその年の発生状況や気象経過のほかに、前年の発生状況の影響を受けるため、効率的な病害虫防除を実施するためにはそれら踏まえた全道的な情報が求められる。また、道内で未確認の病害虫が突発的に発生するため、迅速な対応が求められる。

2) 研究の目的

全道での病害虫発生状況を新発生病害虫も含めて記録し、これをもとに次年度に注意すべき病害虫を示して防除指導にあたっての注意を喚起する。

5. 研究内容

1) 農作物有害動植物の発生状況

- ・ねらい：農作物有害動植物の発生状況を記録する
- ・試験項目等：18作物・86病害虫の発生状況を調査

2) 突発および新発生病害虫の診断試験および調査

- ・ねらい：道内で新たに発生した病害虫を同定し記録する
- ・試験項目等：発生調査、再現試験、同定試験

6. 成果概要

1) 平成27年にやや多発した病害虫

- (1) 水稲：紋枯病、イネミギワバエ
- (2) ばれいしょ：アブラムシ類
- (3) たまねぎ：ネギアザミウマ
- (4) りんご：黒星病、斑点落葉病、腐らん病、モモシクタイガ

2) 平成28年度に特に注意を要する病害虫

- (1) 小麦のなまぐさ黒穂病
- (2) ばれいしょのジャガイモシロシストセンチュウ
- (3) てんさいの西部萎黄病
- (4) あぶらな科野菜のコナガ

3) 新たに発生を認めた病害虫

平成 27 年度に、北海道内において以下の病害虫の発生が新たに確認された。

- (1) 水稻の赤色菌核病 (新発生)
- (2) ばれいしょのジャガイモシロシストセンチュウ (国内新発生)
- (3) ばれいしょのモザイク病 (新系統の出現)
- (4) てんさいの褐斑病 (薬剤耐性菌の出現)
- (5) てんさいのツマグロアオカスミカメ (新寄主)
- (6) なたねの雪腐菌核病 (病原の追加)
- (7) ごぼうのアシグロハモグリバエ (新寄主)
- (8) あぶらな科野菜のコナガ (薬剤抵抗性個体群の出現)
- (9) かぶの菌核病 (新発生)
- (10) ブロッコリーの菌核病 (新発生)
- (11) きゅうりの黒斑病 (病原の追加)
- (12) かぼちゃの菌核病 (新発生)
- (13) なしのチャノキイロアザミウマ (新寄主)
- (14) ブルーベリーのアルターナリア葉枯病 (新発生)
- (15) マルメロのモモチョッキリ (新寄主)
- (16) マルメロのモモシンクイガ (新寄主)
- (17) ホソバオケラのキタネコブセンチュウ (新寄主)

注：病害虫名の後に記したかっこ内表記の凡例は以下のとおりである。

- 国内新発生：これまで国内で記録のなかった新たな病害虫。
- 新発生：道内での発生事例がなかった病害、道内に分布が確認されていなかった害虫。
- 新寄主：道内に分布することが既知である害虫の、新たな作物への加害記録。
- 新系統の出現：道内で発生が報告されている病原の、新しい系統
- 薬剤耐性菌の出現：道内での発生事例がなかった薬剤耐性病原菌の出現。
- 薬剤抵抗性個体群の出現：道内で発生事例がなかった薬剤抵抗性害虫の出現。
- 病原の追加：既知病害と病徴の違いの無い新たな病原の追加。

7. 成果の活用策

1) 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

2) 残された問題とその対応

8. 研究成果の発表等